

第9 回家畜感染症学会シンポジウム・総会 生産性を高める飼養管理（乳牛・肉牛・豚・鶏）と感染症

開催案内

会 期
会 場

2019年 6 月 1 日（土）、10：00-16：50（受付；9：00～）
東京大学農学部1号館8番教室（2階）
 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
 （地下鉄南北線「東大前駅」徒歩1分）

大会長
参加費

望月 学（東京大学）

（円）	正会員	賛助会員	非会員	学生
事前登録	4,000	4,000	7,000	1,000
当日登録	5,000	5,000	8,000	1,000



事前登録締切：
2019年5月20日（月）

開会挨拶（10：00-10：05）

望月 学（東京大学大学院農業生命科学研究科）

基調講演（10：05-11：35）

座長：加藤 敏英（酪農学園大学）
 アニマルウェルフェア向上の意義と国内外の動き
 佐藤 衆介（東北大学名誉教授）

ランチョンセミナー：株式会社微生物化学研究所企画（11：45-12：35）

新生期の子牛に対するワクチン接種効果
 大塚 浩通、森 一紗（酪農学園大学）

平成31年度家畜感染症学会定期総会（12：45-13：05）

シンポジウム（13：10-16：30）

座長：後藤 貴文（鹿児島大学）、野地 智法（東北大学）

1. 消化管環境の制御による家畜生産性の向上と代謝障害の予防
小林 泰男（北海道大学）
2. 酪農におけるアニマルウェルフェア
瀬尾 哲也（帯広畜産大学）
3. 豚の遺伝的な抗病性の改良に向けての取り組み
上西 博英（農研機構）
4. ニワトリ雌生殖器の自然免疫による感染防御機能
吉村 幸則（広島大学）
5. 総合討論

閉会挨拶（16：40-16：50）

後藤 貴文（家畜感染症学会副会長、鹿児島大学）

意見交換会（17：30-19：30）

東京大学農学部3号館食堂、参加費：4,500円
<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/overview.html>

問合せ

家畜感染症学会HP：<https://sv23.plus-server.net/~kachiku/postmail/postmail.html>
 家畜感染症学会事務局（佐藤 礼一郎）：E-mail：request@kachikukansen.org

